

# 長岡市地域女性つながり支援事業【新潟県長岡市】

個別事業費	6,000 千円
交付金額	4,500 千円

## 地域の実情と課題

本市では、令和4年度の人口10万人に対する自殺死亡率は20.5であり、国と県の数値を上回っている。また、令和3年度の自殺者数は女性が男性を上回った。コロナ禍をきっかけに経済的な困難や孤独・孤立を抱える女性が増えていると考えられる。

気軽に話ができたり、同じ悩みを共有し合えたりできる居場所づくりを継続的に求める声が多く聞かれることから、悩みを抱え込んでいる女性がそれを話せる場所づくりが必要とされている。

## 事業の特徴

市民活動団体とのネットワークを持つNPO法人市民協働ネットワーク長岡に業務を委託し、子ども食堂やフードバンクをはじめ、様々な団体と協力して事業を展開した。

市民活動団体の特色を把握する受託者は、各団体の強みを生かし巻き込みながら、さまざまな企画を実施し、生理用品の配布による事業の周知や居場所の提供につながるイベントなどを効果的に実施した。同時に、困難な問題を抱える方に対する支援に当たる団体の掘り起こす効果もあった。

## 事業の効果

生理用品等の提供では、保健師の訪問時に紹介してもらうなど、本当に必要としている人に効果的に配布することができている。

相談対応は件数は少なかったものの、どこに聞いていいかわからない、誰かに話を聞いてほしいという相談を受けることができた。

居場所の提供では、様々な活動で女性同士が交流することで、話をすることで心がスッキリしたなどの声が多く、社会とのつながりの回復を支援できた。

## 目的・目標

社会とのつながりを失い、経済的な不安を抱え、孤独・孤立している女性に対し、相談対応、生理用品等生活必需品の提供、お互いに支えあう居場所づくりなどを通じて、社会とのつながりの回復に向けた支援を行う。

【目標と達成状況】

- ・相談件数100件(達成状況62件)
- ・生理用品等提供数3,100個(達成状況4,194パック)
- ・居場所づくりのイベント参加者1,000人(達成状況456人)

## 連携団体

女性活躍推進法に基づき設置した「長岡市女性活躍推進会議」の構成団体に事業の周知等の協力を得ながら実施した。

定住自立圏域である近隣市町に周知を行い、利用者があった。新潟県女性財団と意見交換し、周知に協力を得たほか、支援方法などを共有し事業の開催に反映した。

## 今後の課題

生理用品等の提供は、より必要な人に届くよう、今後も提供を継続する。

相談対応は生理用品等の配布や居場所の提供を通じて、様々な相談窓口があることの周知を含め、多くの方に情報が届き利用につながる方法の検討が必要である。

居場所の提供は、参加者の反応が非常によく、必要とする方に情報が届くよう、新しい企画を含めて実施する。

# 事業の概要

## 生理用品・マスクの提供

女性に生理用品及びマスクを提供した。相談につながるようチラシやカードを同封した。

- 市の窓口や社会福祉協議会など
- 学校（小・中・大学・専門学校）
- フードバンク
- イベント配布
- 子ども食堂

合計 4,194パック

イベントでは、生理用品の配布と合わせて、事業の周知を行うことができた。また、市の保健師の訪問時に紹介してもらうことで本当に必要としている人に渡せる機会が増えた。受け取った人から感謝の手紙が届くなど、必要としている人に効果的に届けられている。

## 相談対応

専用電話回線を設け、平日・土曜日の日中に相談対応を行った。直接来館した方や、イベント会場での相談対応も行った。

- 電話相談
  - ・月曜～金曜 10時～16時
  - ・相談件数 62件
- 女のスペースながおか出張相談会  
1回 3人
- 出張出前相談 2回  
(居場所づくりイベントと同時開催)



<出張出前相談会>

孤独解消を目的に雑談を中心という方から、深刻な相談まで幅広く相談を受けることができた。それにより相談者の孤独解消につながったほか、居場所づくりへの参加につながるケースもあった。

## 女性がお互いに支えあうための居場所の提供

市内全域で女性が気軽に参加できる交流イベントや相談会を開催。

- 生理用品袋詰め作業  
(4回延べ13人参加。)
- ママの癒しサロン@ねんねこ  
(10回延べ30人参加。)
- がん患者のための貸切温泉企画  
(2回開催延べ54人参加)
- 相続・遺言に関する基礎講座  
(54人参加)

ほか



<居場所づくり>

様々な活動をしながらか参加者同士が交流することで、楽しい時間を提供できた。寂しさから電話相談につながった方などに対し、簡単な作業やおしゃべりで気晴らしの機会とすることができた。

## 支援を行う人材の養成

社会福祉協議会ボランティアセンターと共催して、地域活動に関わる人々を対象に研修や講座を行った。

- ボランティアフォーラム  
82人

事例発表をもとに情報交換を行う機会を設け、参考になる取り組みや新しい発見を得ることができて、支援に必要な知識を習得することができた。

